

## 財政健全化計画等執行状況報告書

## 1. 基本的事項

団体名	鳥取県岩美町	会計名	岩美町水道事業会計	団体担当者	
承認年度	平成24年度				

## 2. 判定結果

(単位:百万円、%)

項目	計画最終年度(又は改善額合計)			計画前年度実績(又は補償金免除額)		類型
	目標値	実績見込値	乖離値	実績値	乖離値	
① 地方債現在高						
② 実質公債費比率						
③ 改善額	266	264	2	14	▲ 250	c
④ 公営企業債現在高	1,929	1,838	91	2,002	164	a
⑤ 累積欠損金比率	80.4	78.7	1.7	36.1	▲ 42.6	b
					総合判定	c

## 3. その他

## (i) 計画及び前年度執行状況の公表状況

計画:平成25年10月 公表 (HP・広報紙・その他【 】)

執行状況:平成27年12月 公表 (HP・広報紙・その他【 】)

## (ii) 計画及び前年度執行状況の議会への説明

計画:平成25年3月 説明



(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

Blank area for the response to item (iii).

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

Blank area for the response to item (iv).

(v)改善方針の進捗状況

Blank area for the response to item (v).

団体名	鳥取県岩美町
会計名	岩美町水道事業会計

類型	
----	--

② 実質公債費比率

(i) 推移表

(単位: %)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	計画最終年度 (平成28年度)	計年前年度 (平成23年度)
計画目標値(A)						
実績(見込)値(B)						
乖離値(C) (A-B)						
乖離率(D) (C/A)						

(ii) 要因分析

(単位: 百万円、%)

係数項目	平成26年度				やむを得ない事情	採用係数
	計画目標値(A)	実績見込値(B)	乖離値(A-B)	乖離要因		
地方債の元利償還金						
準元利償還金						
地方債の元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源						
普通地方交付税の額の基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金						
標準財政規模						
単年度実質公債費比率					単年度再算定比率	

係数項目	平成27年度				やむを得ない事情	採用係数
	計画目標値(A)	実績見込値(B)	乖離値(A-B)	乖離要因		
地方債の元利償還金						
準元利償還金						
地方債の元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源						
普通地方交付税の額の基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金						
標準財政規模						
単年度実質公債費比率					単年度再算定比率	

係数項目	平成28年度				やむを得ない事情	採用係数
	計画目標値(A)	実績見込値(B)	乖離値(A-B)	乖離要因		
地方債の元利償還金						
準元利償還金						
地方債の元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源						
普通地方交付税の額の基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金						
標準財政規模						
単年度実質公債費比率					単年度再算定比率	
実質公債費比率					再算定比率	

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

Empty dashed box for item (iii).

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

Empty dashed box for item (iv).

(v)改善方針の進捗状況

Empty dashed box for item (v).

団体名	鳥取県岩美町
会計名	岩美町水道事業会計

類型	C
----	---

③ 改善額

(i) 推移表

(単位:百万円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	改善額合計	補償金免除額
計画目標値(A)	57	57	52	50	50	266	14
実績(見込)値(B)	57	56	48	50	53	264	
乖離値(C) (B-A)	0	▲ 1	▲ 4	0	3	▲ 2	250
乖離率(D) (C/A)	0.0%	▲ 1.8%	▲ 7.7%	0.0%	6.0%	▲ 0.8%	1,785.7%

(ii) 要因分析

計画最終年度における未達成の要因	影響額(単位:百万円)						備考	やむを得ない事情
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	合計		
大口需要者の経営不振に伴う料金収入の減	1	1	1	1	1	5		22
一般の給水人口減少に伴う料金収入の減		1	1	1	1	4		23
異動による人件費の増		1	2			3		16
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
合計	1	3	4	2	2	12		
うち、やむを得ない事情	1	3	4	2	2	12		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

- ・大口需要者(水産加工会社)の経営不振に伴う節水意識の向上、使用水量の減少により、平成24年度の営業用水道料金が大幅に減少したため。
- ・平成24年度に上記水産加工会社が外国人労働者の解雇を行ったこと等による転出者の増加や、死亡者数の増加、転入者数の減等により、計画(減少率1.0%)を上回る急激な人口の減少(減少率1.87%)が生じた。猛暑の影響で一人当たりの使用水量が増加したため、平成24年度の有収水量への影響は軽微であったが、平成25年度以降の有収水量低迷の主要因となっている。
- ・会計間をまたがった人事異動により、平成25・26年度の給料・手当・法定福利費の人件費が増加したため。

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

- ・未収金の回収強化(大口滞納者の回収強化)

※平成24年度から平成26年度の4月～7月末までの未収金の回収状況の比較

平成24年7月末時点	未収件数	318件	未収金額	10,467,272円
平成25年7月末時点	未収件数	295件	未収金額	10,147,251円
平成26年7月末時点	未収件数	322件	未収金額	9,361,368円
平成27年7月末時点	未収件数	315件	未収金額	8,645,403円

H24年度と比較して、23件、320,021円の未収金が解消された。

H25年度と比較して、件数は27件増となったが、785,883円の未収金が解消された。

H26年度と比較して、7件、715,965円の未収金が解消された。

- ・平成27年度より補助事業である水道管路耐震化推進事業により工事等を実施するため、人件費を資本的収支より支出し、人件費の削減を図る。

(v)改善方針の進捗状況

- ・回収強化により、年々、未収金が解消している。

- ・補助事業で工事等を実施し人件費を資本的収支から支出することにより、平成27年度は0.5人分の200万円、平成28年度は1人分の500万円の人件費を削減できる予定である。

団体名	鳥取県岩美町
会計名	岩美町水道事業会計

類型	a
----	---

④ 公営企業債現在高

(i) 推移表

(単位: 百万円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	計画最終年度 (平成28年度)	計画前年度 (平成23年度)
計画目標値(A)	2,005	2,066	2,028	1,974	1,929	2,002
実績(見込)値(B)	1,960	2,007	1,950	1,884	1,838	
乖離値(C) (A-B)	45	59	78	90	91	164
乖離率(D) (C/A)	2.2%	2.9%	3.8%	4.6%	4.7%	8.2%

(ii) 要因分析

計画最終年度における 未達成の要因	影響額(単位: 百万円)					備考	やむを得ない 事情
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
合計	-	-	-	-	-		
うち、やむを得ない事情	-	-	-	-	-		



(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

Blank area for the response to item (iii).

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

Blank area for the response to item (iv).

(v)改善方針の進捗状況

Blank area for the response to item (v).

団体名	鳥取県岩美町
会計名	岩美町水道事業会計

類型	b
----	---

⑤ 累積欠損金比率

(i) 推移表

(単位: %)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	計画最終年度 (平成28年度)	計画前年度 (平成23年度)
計画目標値(A)	36.6	34.8	49.7	65.6	80.4	36.1
実績(見込)値(B)	38.8	40.0	58.9	70.2	78.7	
乖離値(C) (A-B)	▲ 2.2	▲ 5.2	▲ 9.2	▲ 4.6	1.7	▲ 42.6
乖離率(D) (C/A)	▲ 6.0	▲ 14.9	▲ 18.5	▲ 7.0	2.1	▲ 118.0

(ii) 要因分析

(単位: 百万円、%)

	計画最終年度(平成28年度)		再算定値
	計画目標値(A)	実績見込値(B)	
分母(営業収益等)	199	193	199
分子(累積欠損金)	160	152	152
累積欠損金比率	80.4	78.8	76.4

分母悪化要因

(単位: 百万円)

要因	影響額	備考	やむを得ない事情
料金収入の減	2	大口需要者の経営不振に伴う料金収入の減	22
料金収入の減	4	一般の給水人口減少に伴う料金収入の減	23
合計	6		

分子悪化要因

(単位: 百万円)

年度	純損益		乖離値(A-B)	乖離要因	やむを得ない事情
	計画目標値(A)	実績見込値(B)			
平成24年度					
平成25年度					
平成26年度					
平成27年度					
平成28年度					
合計			-		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

・リーマンショック以降の不景気の影響及び東日本大震災の影響による、大口需要者(水産加工会社)の経営不振に伴い、使用水量が減少し料金収入が大幅な減となったため。

・会計間をまたがった人事異動により、平成25・26年度給料・手当・法定福利費等の人件費が増加したため。

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

・未収金の回収強化(大口滞納者の回収強化)

※平成24年度から平成26年度の4月～7月末までの未収金の回収状況の比較

平成24年7月末時点	未収件数	318件	未収金額	10,467,272円	} H24年度と比較して、23件、320,021円の未収金が解消された。  H25年度と比較して、件数は27件増となったが、785,883円の未収金が解消された。  H26年度と比較して、7件、715,965円の未収金が解消された。
平成25年7月末時点	未収件数	295件	未収金額	10,147,251円	
平成26年7月末時点	未収件数	322件	未収金額	9,361,368円	
平成27年7月末時点	未収件数	315件	未収金額	8,645,403円	

(v)改善方針の進捗状況

・回収強化により、年々、未収金が解消している。